

小水力発電 政策シンポジウムのご案内

「小水力発電の過去・現在・未来を考える」

全国小水力利用推進協議会では、2019年の総会イベントとして「小水力発電・政策シンポジウム」を開催いたします。「水力発電の底力」をさぐり、「コミュニティパワーの現在」を学び、「デジタルグリッドの未来」を考えます。

ご関心のある関係者各位の積極的なご参加を、心からお待ちしております。

■ 日 時：7月20日（土）開場：午後1時 開会：午後1時30分～5時

■ 場 所：日比谷図書文化館 コンベンションホール
(東京都千代田区日比谷公園1-4 B1 : 裏面地図を参照ください)

■ プログラム(予定)：

時刻	演題 (仮)	講師
13:30 ～13:40 (10分)	開会挨拶 (司会)	全国小水力利用推進協議会 理事 服部乃利子 全国小水力利用推進協議会会長 愛知 和男
13:40 ～14:40 (60分)	日本文明とエネルギー ～水力発電の底力～ (質疑応答)	日本水フォーラム代表理事 全国小水力利用推進協議会副会長 竹村公太郎
14:40 ～15:40 (60分)	地域のための小水力開発の現状 ～コミュニティパワーの活用～ (質疑応答)	シン・エナジー(株)水力発電事業部 秋田県・仙北水力発電(株)取締役 清水 満
(15分)	休 憩	
15:55 ～16:55 (60分)	エネルギーの民主化と デジタルグリッドの未来 ～配電網の自由化目指して～ (質疑応答)	元東京大学工学系研究科特任教授 デジタルグリッド(株)会長 阿部 力也
16:55 ～17:00 (5分)	閉会挨拶	全国小水力利用推進協議会理事 前田 典秀

■ 今回の政策シンポジウムの趣旨

2020年4月から始まる「発送電分離」は電力自由化の最終段階といわれ、電力を需要家の受電設備に供給するための、発電・変電・送電・配電を統合したネットワークシステム（系統という）のありかたについて様々な議論が進められています。

こうした中で、再エネ発電所の系統接続問題が大きな問題となっていますが、再エネの「大量導入」「主力電源化」にとって、今後の課題は何かを明らかにする必要に迫られています。

小水力発電は、水資源が地域社会と広く、深く結びついていること、比較的人口の希薄な中山間地に資源が多いこと、自然変動が比較的小さいことからなどから、自立性を持ったローカルシステムの基幹的な電源と位置付けることが可能です。

本シンポジウムでは日本の電力系統全体のあり方を意識しつつ、自立性を持った小水力発電開発の過去・現在・未来を考え、ローカルシステムの今後についても問題提起を行います。

■ 会場・交通案内



<交通案内>

- ◆東京メトロ 丸の内線・日比谷線「霞ヶ関駅」B2 出口より徒歩約3分
- ◆都営地下鉄 三田線「内幸町駅」A7 出口より徒歩約3分
- ◆東京メトロ 千代田線「霞ヶ関駅」C4 出口より徒歩約3分
- ◆JR 新橋駅 日比谷口より 徒歩約10分

■ 入場無料・先着順

定員 200 名を超えた場合はお断りすることがありますので、予めご了承ください。

お問合せは

全国小水力利用推進協議会事務局 TEL:03-5980-7880 Email:info@j-water.org まで